

特集

令和5年度各会計決算を含む 議案等36件を慎重審議しました

ビアスパークしもつま露天風呂



定例会	2～5	行政視察報告	15
各会計決算	5	行政視察来訪	15
決算の内訳・賛否討論	6	議会日誌	16
一般質問	7～14	次回定例会予定	16

こんなことが決まりました

令和6年第3回定例会 議決一覧表

事件番号	件名	内容	議決月日 結 果
報告 第8号	専決処分の報告について「損害賠償について」	除草作業中に係る事故による損害賠償金の支払について専決処分したもの	9.4 報告のみ
報告 第9号	専決処分の報告について「損害賠償について」	市有車の接触事故による損害賠償金の支払について専決処分したもの	9.4 報告のみ
報告 第10号	専決処分の報告について「損害賠償について」	市有車の接触事故による損害賠償金の支払について専決処分したもの	9.4 報告のみ
報告 第11号	専決処分の報告について「損害賠償について」	市有車の接触事故による損害賠償金の支払について専決処分したもの	9.4 報告のみ
報告 第12号	令和5年度下妻市一般会計継続費精算について	継続費を設定し、複数年度にわたり進めてきた庁舎等建設事業（整備工事）等について、事業が完了したため、議会に報告するもの	9.4 報告のみ
報告 第13号	令和5年度下妻市介護保険特別会計継続費精算について	継続費を設定し、複数年度にわたり進めてきた第9期介護保険事業計画策定委託について、事業が完了したため、議会に報告するもの	9.4 報告のみ
報告 第14号	令和5年度下妻市水道事業会計継続費精算について	継続費を設定し、複数年度にわたり進めてきた砂沼浄水場浄水施設更新事業について、事業が完了したため、議会に報告するもの	9.4 報告のみ
報告 第15号	令和5年度下妻市財政の健全化判断比率について	令和5年度決算に基づく下妻市財政の健全化判断比率について、監査委員の審査意見を付けて議会に報告するもの	9.4 報告のみ
報告 第16号	令和5年度下妻市公営企業の資金不足比率について	令和5年度決算に基づく下妻市公営企業の資金不足比率について、監査委員の審査意見を付けて議会に報告するもの	9.4 報告のみ
報告 第17号	一般財団法人下妻市開発公社令和5年度経営状況報告について	一般財団法人下妻市開発公社の令和5年度経営状況について、地方自治法及び地方自治法施行令の規定に基づき、議会に報告するもの	9.4 報告のみ
報告 第18号	株式会社ふれあい下妻令和5年度経営状況報告について	株式会社ふれあい下妻の令和5年度経営状況について、地方自治法及び地方自治法施行令の規定に基づき、議会に報告するもの	9.4 報告のみ
議案 第52号	下妻市市税条例の一部改正について	地方税法等の一部改正に伴い、個人住民税の寄附金税額控除に係る規定の整理など、所要の改正を行うもの	9.19 原案可決
議案 第53号	下妻市国民健康保険条例の一部改正について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律による国民健康保険法の一部改正に伴い、国民健康保険被保険者証が廃止されることから、所要の改正を行うもの	9.19 原案可決

令和6年第3回定例会

事件番号	件名	内容	議決月日 結 果	
議案 第54号	下妻市地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例及び下妻市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	地域包括支援センターの人材確保が困難となっている状況を踏まえ、介護保険法施行規則において、地域包括支援センターにおける職員の配置基準を定めるに当たり、従うべきとされている基準を緩和する改正が行われたことに伴い、改正後の基準に従い、所要の規定を整備するため、関係条例の一部を改正するもの	9.19	
			原案可決	
議案 第55号	下妻市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	水道法施行令及び水道法施行規則の一部改正に伴い、水道の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件が変更されることを踏まえ、当該政省令を参酌して条例で定める資格要件についても同様の変更をするため、条例の一部を改正するもの	9.19	
			原案可決	
議案 第56号	訴えの提起について	市が平成16年8月30日から現在に至るまで道路としての用に供している土地に関し、時効取得を原因とする所有権移転登記手続を求める訴えを提起することについて、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの	9.19	
			原案可決	
議案 第57号	損害賠償の額を定めることについて	リース車両のリース契約を解除するに当たり、損害賠償の額を定めることについて、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの	9.19	
			原案可決	
議案 第58号	茨城租税債権管理機構規約の変更について	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行により、令和6年度から市町村において、個人住民税均等割と併せて一人年額1,000円の森林環境税を賦課徴収することとなったことから、茨城租税債権管理機構規約の一部を変更することについて、関係市町村と協議するため、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの	9.19	
			原案可決	
議案 第59号	令和6年度下妻市一般会計補正予算（第4号）について	児童手当制度拡充に伴う支給額の増額等により、4億6,088万1,000円を増額するもの	9.19	
			原案可決	
議案 第60号	令和6年度下妻市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	定期人事異動に伴う人件費補正により、234万5,000円を増額するもの	9.19	
			原案可決	
議案 第61号	令和6年度下妻市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	償還金、基金積立金等の増額により、1億9,260万4,000円を増額するもの	9.19	
			原案可決	
議案 第62号	令和6年度下妻市下水道事業会計補正予算（第1号）について	資本的支出において、定期人事異動に伴う人件費補正により、64万4,000円増額するもの	9.19	
			原案可決	
認定 第1号	令和5年度下妻市一般会計歳入歳出決算について	歳入総額	210億5,080万3,585円	9.19
		歳出総額	203億3,693万8,772円	
		実質収支額	6億6,726万 813円	
認定 第2号	令和5年度下妻市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について	歳入総額	45億4,966万1,787円	9.19
		歳出総額	45億3,312万9,218円	
		実質収支額	1,653万2,569円	
認定 第3号	令和5年度下妻市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について	歳入総額	5億6,805万8,162円	9.19
		歳出総額	5億6,550万8,093円	
		実質収支額	255万 69円	

事件番号	件名	内容	議決月日 結 果
認定 第4号	令和5年度下妻市介護保険特別会計歳入歳出決算について	歳入総額	42億5,562万2,280円
		歳出総額	40億7,459万5,947円
		実質収支額	1億8,102万6,333円
認定 第5号	令和5年度下妻市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算について	歳入総額	1,267万1,769円
		歳出総額	673万7,422円
		実質収支額	593万4,347円
認定 第6号	令和5年度下妻市水道事業会計決算について	収益的収支 収入	10億8,941万1,653円
		支出	8億4,909万2,822円
		資本的収支 収入	7億6,803万7,500円
		支出	10億6,154万1,188円
認定 第7号	令和5年度下妻市下水道事業会計決算について	収益的収支 収入	7億9,777万8,623円
		支出	7億7,068万5,301円
		資本的収支 収入	4億5,585万1,650円
		支出	6億8,410万 279円

人 事 案 件

諮問 第1号	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて	現委員の横田芳宏氏が任期満了となることから、引き続き同氏を委員に推薦することについて、議会の意見を求めるもの	9.19
			同意
諮問 第2号	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて	現委員の横堀孝徳氏が任期満了となることから、引き続き同氏を委員に推薦することについて、議会の意見を求めるもの	9.19
			同意
諮問 第3号	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて	現委員の杉山由民子氏が任期満了となることから、引き続き同氏を委員に推薦することについて、議会の意見を求めるもの	9.19
			同意
諮問 第4号	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて	現委員の杉山照夫氏が任期満了となることから、引き続き同氏を委員に推薦することについて、議会の意見を求めるもの	9.19
			同意
諮問 第5号	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて	現委員の大月俊明氏が任期満了となることから、引き続き同氏を委員に推薦することについて、議会の意見を求めるもの	9.19
			同意

議 員 提 出 議 案 等

意見書 第2号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書	子供たちの豊かな学びを保障するため、加配教員の増員等による教職員定数改善の推進などを求める意見書を国に提出するもの	9.19
			原案可決

請 願

請願受理 番号 第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	子供たちの豊かな学びを保障するため、加配教員の増員等による教職員定数改善の推進などを求める意見書を国に提出することを求めるもの	9.19
			採択

令和6年第3回定例会 賛否が分かれた案件

事件の 番号	野村 貴博	安田 歩	太田 富雄	浅野 通生	木村 穂摘	鈴木 牧	端 茂樹	宇梶 浩太	岡田 正美	塚越 節	程塚 裕行	斯波 元気	小竹 薫	廣瀬 榮	原部 司	須藤 豊次	平井 誠	篠島 昌之	結果
議案 第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	可決
議案 第58号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	可決
認定 第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	認定
認定 第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	認定
認定 第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	認定
認定 第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	認定
認定 第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	認定
認定 第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	○	認定

※○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権

※除斥とは、自己の一身上に関する事件について議事に参与できないこと

※議長(須藤 豊次)は採決に加わりません

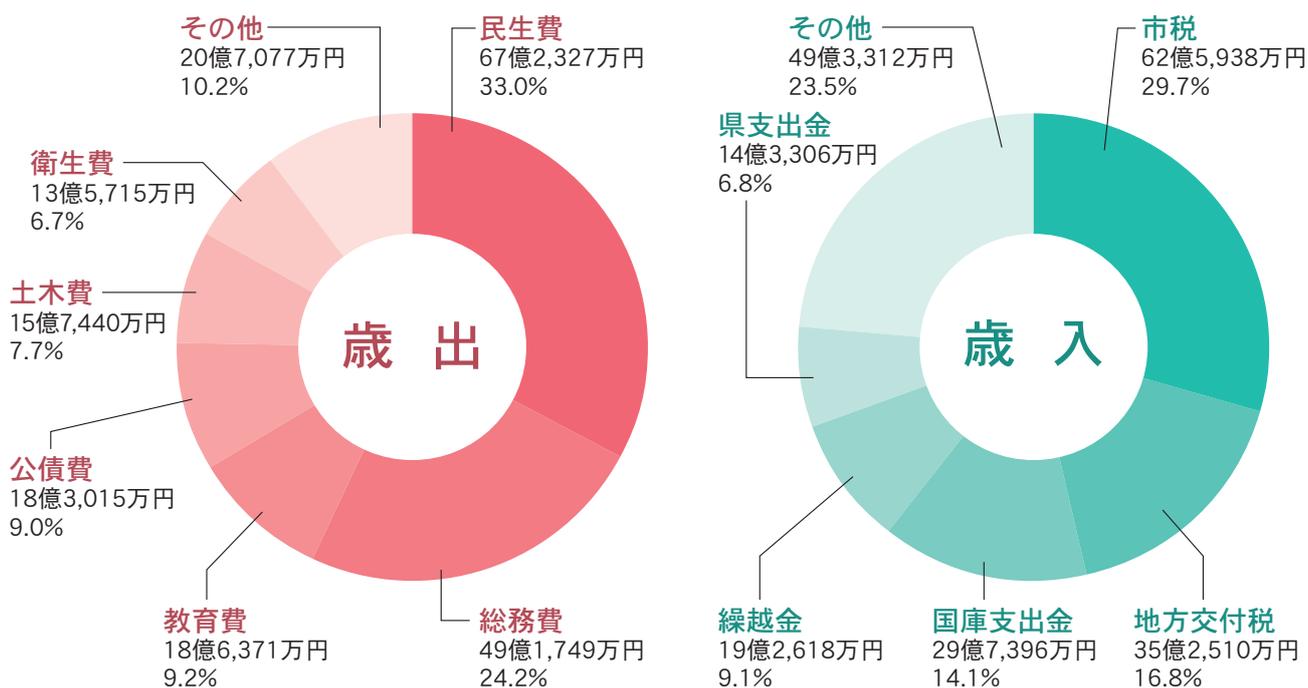
令和5年度 各会計決算

(単位 万円)

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	210億5,080万円	203億3,694万円	7億1,386万円
国民健康保険特別会計	45億4,966万円	45億3,313万円	1,653万円
後期高齢者医療特別会計	5億6,806万円	5億6,551万円	255万円
介護保険特別会計	42億5,562万円	40億7,460万円	1億8,102万円
介護サービス事業特別会計	1,267万円	674万円	593万円
水道事業会計	18億5,745万円	19億1,063万円	※△5,318万円
下水道事業会計	12億5,363万円	14億5,479万円	※△2億116万円
合計	335億4,789万円	328億8,234万円	6億6,555万円

※不足分については、過年度分損益勘定留保資金等で補った。
なお、決算金額については、万単位とした。

令和5年度 一般会計決算の内訳



令和5年度 一般会計決算に対する賛否討論

賛成

本決算はコロナ禍からの回復や庁舎建設事業が完了したことなどにより、歳入歳出ともに前年度を上回る決算となっている。

歳入では、市税全体で過去最高額となる62億5,938万円となり、前年度に引き続き堅調に推移しており、取組を進める工業団地への企業誘致の成果も見て取れる。また、ここ数年大きな伸びを見せている下妻ふるさと寄附金は寄附額を伸ばし、前年度比105.6%の大幅増となっている。引き続きさらなる自主財源の確保に努め、持続可能なまちづくりを進めていきたい。

歳出では、国からの補助金を最大限活用し、原油物価高騰対策や物価高の影響を大きく受ける低所得世帯や子育て世帯の応援対策に取り組んでいる。また、市民の暮らしを守る施策に重点を置きつつ、子育て支援策においては、相談及び支援を一体的に行う下妻うるかむベビー応援事業の実施や市民の利便性を向上するためデジタル化を推進し、書かない窓口を導入するなど、本市独自のきめ細やかな対応が見て取れる。今後も住民福祉の増進と市政発展のため、一丸となって努力することを期待して賛成討論とする。

反対

新型コロナウイルス感染症の影響や不況と物価高騰が続いており、市民の多くは生活が困窮している。高齢者向け福祉施策の充実が評価されるが、難病患者福祉手当を年額4万8千円に戻すとともに、市税等滞納者にも支給することを求める。また、月額3千円を支給していたひとり親家庭等児童資金事業の復活や近隣市町で実施している学校給食費無料化の実施を求める。さらに、エアコンのない世帯へのエアコン設置費用補助や高齢者及び難聴者に対する補聴器購入費に対する市独自の助成制度の創設を求める。市税等滞納者の生活実態などを把握し、生活困窮者が相談しやすい市政、そして市民生活を支援する施策をさらに拡充することを求めて反対討論とする。

令和六年第三回定例会

一般質問通告書

今定例会では、13名の議員から市政各般についての一般質問が展開されました。

要旨は、次のとおりです。

一般質問者の氏名・項目は次のとおりです。
(通告順)

- 1 浅野 通生 議員
 - 1 下妻市図書館事業について
 - 2 工業団地に関わる道路の現状について
- 2 太田 富雄 議員
 - 1 带状疱疹について
 - 2 森林環境譲与税の用途について
- 3 塚越 節 議員
 - 1 「地方創生移住支援事業」について
 - 2 砂沼新田地区の道路冠水対策について
 - 3 「下妻市庁舎周辺エリアビジョン」に関する「ランドスケープ的手法導入」について
- 4 鈴木 牧 議員
 - 1 本市における救命救急の現状と課題について
- 5 安田 歩 議員
 - 1 下妻市教育大綱からの各学校にある「グラウンドデザイン」への落とし込みとそれらの学校運営について
 - 2 やすらぎの里しもつまの現状と課題について
- 6 原部 司 議員
 - 1 高齢者福祉の更なる充実強化について
 - 2 下妻市の「ひきこもり」対策について
- 7 岡田 正美 議員
 - 1 市民文化会館の修理継続を求めてきたが、それが不可能であるなら代替施設はどうなるか。また下妻市庁舎周辺エリアビジョンとまちづくりについて
- 8 端 茂樹 議員
 - 1 防犯について
 - 2 庁舎周辺エリアビジョンについて
 - 3 新型コロナウイルス接種の危険性についての周知や対応について
- 9 平井 誠 議員
 - 1 下妻市の「非核・平和都市宣言」の表示について
 - 2 学校給食費の無料化を求めて学校給食は自校方式を継続してほしい
 - 3 下妻市独自の家賃補助制度の新設について
 - 4 高齢者世帯とひとり親世帯へのエアコン購入費補助事業について
 - 5 定額減税の調整給付金について
- 10 斯波 元気 議員
 - 1 地域交流センターと下妻公民館について
- 11 木村 穂摘 議員
 - 1 ふるさと納税について
 - 2 教員の働き方改革について
- 12 小竹 薫 議員
 - 1 小中学校の部活動等の支援について
- 13 野村 貴博 議員
 - 1 市制70周年 下妻まつり2024について
 - 2 下妻市シティプロモーション推進業務公募型プロポーザルについて

※インターネット映像配信サービス「YouTube」を利用して一般質問の録画配信をしております。

一般質問のYouTube録画配信



下妻市議会 録画配信

検索



浅野通生 議員
【一問一答方式】



工業団地に関わる道路の現状について

質問 しもつま鯨工業団地に、桜の木が植樹されたが、桜の木はほとんどん枝を伸ばし生長するため、その管理計画を伺う。

また、花のまち しもつまに、さわしく、もっと桜の木を増やし、企業見学に訪れる方や市民の皆さんも楽しめるような歩道の整備、並木にするような見せる工夫をすることも、下妻市の魅力をPRできる一つと考える。世界的に有名な企業もあることから、将来を見据えた計画を立て管理すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁

しもつま鯨工業団地東側の小貝川堤防付近に植樹した桜の木は、市開発公社が企業誘致の際に誘致企業から要望があったことや魅力ある良好な水辺空間と景観形成のため植樹したも

のである。通行する車両へ配慮して樹高や樹形がやや小さめの品種を植樹しており、維持管理として年2回程程度の消毒作業と年1回程程度の軽剪定が必要であり、本年度は市開発公社が担当し、次年度以降は市で移管を受け管理していく予定である。

桜を増やすことについては、計画当初はそのような考えもあつたが、隣接区画は食品を扱っている企業で、虫の混入等のリスク回避の観点から、工場用地内外への植栽には難色を示されたことから、現在の延長150mに桜を植樹した経緯であり、南側への桜の延長は困難であると考えている。



しもつま鯨工業団地東側の市道8304号線



太田富雄 議員
【一括方式】



带状疱疹について

質問

带状疱疹は、多くの人が幼少期に感染する水痘（水ぼうそう）と同じウイルスが原因で、加齢や疲労など免疫力の低下に伴い、神経に潜伏していたウイルスが再活性化して発症する。発症率は50歳以降で高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われ、後遺症が残る場合もある。予防にはワクチン接種が有効とされるが、高いものでは4万円程度かかる。

近隣の自治体で50歳以上を対象としたワクチン接種費用の助成をしている自治体はあるか伺う。また、本市ではその助成の考えがあるか伺う。

答弁

带状疱疹を予防するワクチンは、生ワクチンである水痘ワクチンと、不活化ワクチンの2種類があり、接種費用は、



50歳以上の発生率が高くなっている带状疱疹

生ワクチンが1回接種で約1万円、不活化ワクチンは2回接種で1回当たり約2万2千円である。本年5月現在、県内でワクチン接種の助成を行っている市町村は、15か所あり、このうち50歳以上を対象としている市町村は14か所となる。近隣では、筑西市、結城市、桜川市、古河市において助成制度がある。助成の額や回数は自治体によって様々な状況である。

現時点で、本市ではワクチン接種費用の助成の予定はない。現在国において带状疱疹ワクチンの定期接種化に向けた審議がされていることから、今後も引き続き国の動向や近隣自治体の状況について注視し、調査研究をしていく。

砂沼新田地区の道路冠水対策について



塚越 節議員
【一問一答方式】



質問

砂沼新田地区はその地名のとおり、元々は沼であり、どうしても水が溜まりやすい場所である。当地区の道路冠水については、数年前に比べると大分改善されていると実感しているが、昨今の豪雨というのは、普通に過去の想定を越えたと耳にする時代である。雨水調整池の用地交渉等、今後の道路冠水対策を伺う。

答弁

砂沼新田地区内、市立図書館前の市道1408号線は、台風による大雨やゲリラ豪雨等により道路冠水被害が度々発生したことから、雨水の排水対策を現在も継続して実施している。雨水調整池については、平成28年度に整備計画地の借地契約を締結し、平成29年度に基本・詳細設計を実施したところであるが、公



市立図書館前の市道1408号線

共の施設を伴う用地は、市が取得し、市所有地として管理していくことが望ましいことから、現在も用地交渉を続けている。冠水対策として、本年度は、地域に流入する雨水排水を分散させるための側溝改修工事と、汚泥堆積箇所の側溝清掃を実施した。また、冠水発生時に江連八間土地改良区との協定に基づく用水路への排水が容易にできるように、雨水排水の導水管整備工事を実施する計画である。当地域は、地形的に周辺の雨水が集中しやすい状況で、道路冠水が発生しやすい地域であるため、今後も引き続き用地交渉を含め、冠水対策を実施していく。

本市における救命救急の現状と課題について



鈴木 牧議員
【一問一答方式】



質問

心肺停止から1分以内に救命処置が行われれば95%が救命され、3分以内では75%、5分経過すると25%になり、8分経過するとその確率は極めて低くなるが、救急車の到着時間は約8・6分かかると言われている。AED GOアプリは、119番通報と連携し、救急車が到着する前に、現場付近の救命ポランティアが素早くAEDを運搬し、駆けつけることで救命率の向上を目指したシステムである。本市でのAED GOアプリの導入について見解を伺う。

答弁

AED GOアプリの導入は、人命救助につながるAEDの使用率を向上させるための有効な手段の一つであると考えられる。しかしながら、導入



AEDの設置箇所について、効果的な情報発信に努めていく

に当たってはいくつかの課題がある。現在の救急通報や緊急通報は、水戸市にある茨城消防指令センターで通報を受け、各消防署に出場指令を出しているが、当アプリ実施のためには、システム構築に係る機器類の整備や指令センターの業務にその操作が追加されるため、構成自治体の同意は必須になる。また、下妻市の救命救急業務は、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部が行っており、当アプリの導入等に当たっても構成市町の合意が不可欠となる。これらのことから、本市が単独で当アプリを導入することは至って困難である。他の自治体、消防本部の動向を注視しつつ、まずは、関係機関・団体と情報共有を図っていく。



安田 歩 議員
【二括方式】

動画は
こちら↓



行政（選挙管理委員会）からの小中学生への政治関心を高めるための取組について

質問

市民に政治に関心を寄せてもらうこと、主権者教育、市民参画の芽を育てるためには、広く働きかけができる義務教育期間の時期に行政（選挙管理委員会）から教育委員会への働きかけが重要と考える。下妻市の独自の取組として、行政から教育委員会への働きかけなど、どのように推進しているか伺う。

答弁

市民の積極的な政治参加を促進するための取組として、主権者教育の推進による若年層への働きかけは、重要なものであると考えている。学校教育においては、従前から小学校の社会科や中学校の公民の分野等で学習を進め、児童生徒の主権者意識の醸成を図っている。



千代川中学校で実施された模擬投票の様子

主権者教育の目指すところは、社会の出来事について自ら考え、判断し、主体的に行動する主権者を育てることにあると考える。選挙管理委員会では、教育委員会や各市立中学校と連携し、10月に選挙に関する出前授業の開催を予定している。この授業では、当委員会事務局職員が中学校に向き、模擬投票等を含め、実際の選挙がどのように行われるかを生徒の皆さんに体験してもらい、選挙を身近に感じてもらうことを主眼に置き実施し、これをきっかけに、選挙や政治に関心を持っていただけるよう取り組んでいく。



原部 司 議員
【二括方式】

動画は
こちら↓



高齢者福祉の更なる充実強化について

質問

我が国では、人口減少と少子高齢化が急激に進展し、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年も目前に迫るなど、本格的な超高齢社会を迎えている。

本市では、第6次下妻市総合計画後期基本計画が策定され、その中には、元気に楽しく生き生きとした高齢者を過ごせるよう各種施策に取り組むとともに、地域包括ケアシステムの構築を推進するとある。そこで、本市の高齢者を取り巻く現状と課題の認識について伺う。

答弁

本市における高齢化率は、茨城県全体の31%よりは低く、全国の29.2%よりは高い状況にあり、年々高齢化が進んでいる。



その時代のニーズに合った高齢者施策に取り組んでいく

本市では、令和6年度から3年間を期間とする下妻市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画を令和6年3月に策定した。この計画では、高齢者が自分らしく生き生きと活動できる環境づくりや高齢者や家族を地域全体で支える仕組みづくり、安心して利用できる持続可能な介護保険事業の運営を目指している。そして、この計画に基づき、社会の担い手となり得る元気な高齢者の割合を高めるため、生きがいづくりや社会参加の促進、生涯を通じた健康の確保、介護予防の推進、認知症の人や家族を地域で支える環境や仕組みづくりを進めている。引き続き、高齢者の方が安心して暮らせるようその時代のニーズに合った高齢者福祉施策に取り組んでいく。



岡田正美 議員
【一括方式】



市民文化会館の修理継続を求めてきたが、それが不可能であるなら代替施設はどうなるか。また、下妻市庁舎周辺エリアビジョンとまちづくりについて

質問

市民文化会館の修理継続を求め、令和6年第1回定例会の一般質問で取り上げたところ、答弁では解体する方針とのことであつたが、その後、パブリックコメントなどを通して私どもや市民の意見を取り入れ、現時点では代替施設の検討をする方向となつてきた。市長は政治家としてどのような方針で事を進めようとするのか、庁舎周辺エリアビジョンとまちづくりについて伺う。

答弁

庁舎周辺エリアビジョンは、市庁舎を中心に公共施設が集積する公共施設群を庁舎周辺エリアとし、旧本庁舎解体後の跡地利用をメインとする今後のまちづくりの方向性を示すものとして、令和6年8月に策定した。



解体方針が示されている市民文化会館

また、ビジョンの策定に当たっては、市を取り巻く現状や課題の洗い出しを行うとともに、庁舎周辺エリアにおいて解決すべき課題に焦点を当て、庁舎周辺エリアの目指す将来像を設定している。

地域交流センターについては、庁舎周辺エリアビジョンの当初の案では、その検討を令和10年度以降に行うこととしていたが、策定したビジョンでは、市民説明会やパブリックコメントでの市民の皆様の見解を踏まえ、基本計画策定時に前倒して行うよう内容を変更している。この検討についても市民の皆様や議会の意見を聞きながら進めていく。



端茂樹 議員
【一問一答方式】



庁舎周辺エリアビジョンについて

質問

旧第二庁舎は、新庁舎開庁とともに閉庁しているが、今後の利活用について伺う。また、下妻公民館は、今後、基本計画策定期間中でも継続利用していくが、築40年を越える施設のため、空調設備の修繕など、改修等にはどう取り組んで活用していくのか伺う。

答弁

旧第二庁舎については、昨年度に用途変更可能性調査を行った結果、事務所や貸会議室として使用することはできるものの、公民館など不特定多数の方が利用する施設に変更することはできないことが分かっている。この結果及び庁舎周辺エリアビジョンを踏まえ、本年8月に庁内検討組織を立ち上げ、その活用について検討を開始したところである。



行政の中心地である庁舎周辺エリア

下妻公民館については、当初の庁舎周辺エリアビジョン(案)では、下妻公民館の設備は老朽化が著しいため、市民文化会館の解体と下妻公民館の大規模改修は、できるだけ早い段階で実施する必要があるとしていたが、市民説明会やパブリックコメント等の意見を踏まえ、策定したエリアビジョンでは、下妻公民館の設備の老朽化が著しいため、基本計画策定時において、市民文化会館の解体と下妻公民館の在り方検討、及び地域交流センターなどの新たな文化活動拠点の検討を行っていくと変更している。当面は施設として利用できる必要に応じた修繕を行っていく。



平井 誠議員
【二括方式】



学校給食費の無料化を求めて

質問 学校給食費の無料化を求めては、令和6年第1回定例会の一般質問でも取り上げたところ、市内の市立小中学校の給食費の完全無償化を実施する場合、新たに1億1,400万円以上の公費負担が生じることから、現時点では困難であるとの答弁があった。

本市には、財政調整基金という積立金があり、令和4年度末では20億7千万円あり、令和5年度末では28億7千万円余と約8億円積み増しされている。住み続けたい、子育て支援のまち下妻を目指して、お金を積み増しするのではなく、学校給食費の無料化を求める。

答弁 財政調整基金については、一定の要件を満たした場合における工場等の新設や増

設に対する固定資産税の課税免除に伴う普通交付税の減額に備えるため、計画的に積み立てを行ってきたものであり、住民サービスの維持に充てる原資として考えているため、給食費の無償化に充てることは困難である。

本市としては、小中学校の給食費の無償化は、本来は国が取り組むべき施策であり、このような子育て支援に関し、地域格差があるてはならないと考えている。このため、なるべく早い時期に国の施策として小中学校の給食費の無償化が実施されるよう、県内自治体と連携を図りながら、国や関係機関に対し要望していく。



全国的に学校給食費の無償化を実施する自治体が増えている



斯波元氣議員
【一問一答方式】



地域交流センターと下妻公民館について

質問 策定された庁舎周辺エリアビジョンでは、本年度から地域交流センターの検討を開始するとしている。下妻公民館の検討時期と同時期になることから、両施設の複合化を念頭に置くものか、見解を伺う。

また、令和6年第2回定例会の一般質問の答弁で、地域交流センターを考えるには、下妻公民館、千代川公民館、旧千代川庁舎等の施設も含めどうするのか、下妻市全体を俯瞰的に考える必要があるとあった。これは、さらに大きな視点での話になるが、今回のエリアビジョンの範囲を越えた事案はどこで検討するのか伺う。

答弁 地域交流センターの検討については、庁舎周辺エリアビジョンの当初の案では、

令和10年度以降に開始するとしていたが、市民説明会等の意見を踏まえ、策定したビジョンでは、今年度に着手する基本計画策定時に前倒しで行うよう変更した。具体的な整備の時期や建物の規模などについても、この中で検討していく。地域交流センターは、庁舎周辺エリアビジョンを達成するための重要な要素であるため、庁舎周辺エリア内への整備が基本になると考えている。

また、旧千代川庁舎や千代川公民館が所在するエリアについては、本市の地域拠点としてまちづくりを進めていく必要があると認識しており、市全体を俯瞰した上で、庁舎周辺エリアの整備と並行して検討を進めていく。



下妻公民館



木村穂摘 議員
【二括方式】

動画は
こちら↓



ふるさと納税について

質問

ふるさと納税は、自治体自らの創意工夫によって歳入を増やすことができる貴重な財源である。本市では、これまでもふるさと納税を増やす取組をされているが、更なる寄附額拡大に向けての課題や取組について伺う。

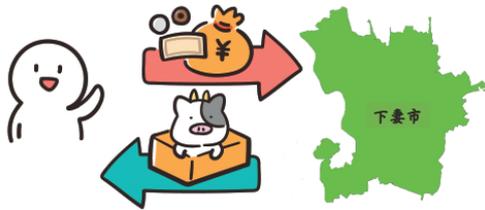
答弁

課題については、ふるさと納税の寄附額拡大のためには、返礼品の数量や種類を増やし続けることが必要であり、本市の主力の返礼品は農産物が多いため、収穫する前に提供可能な数量をしつかりと確保することが重要となる。

返礼品の種類を増やす取組として、返礼品実績の上位を占める化粧品については、下妻工場が生産が始まる新商品を早期に返礼品として提供する取組を行っている。

さらに、令和5年度に創設した下妻市ふるさと納税返礼品開発等支援補助金の活用を推進し、新たな返礼品の開発を促している。また、既存の返礼品のブラッシュアップの取組も進めていく。

返礼品の数量を増やす取組として、お米のミルキークイーンについては、生産面積の拡大推進を関係機関と進めている。梨については、生産者の離農者が増加している状況であるが、ふるさと納税を原資とした果樹園地継承事業により、離農者の梨園地を管理し、梨の新規就農者に園地を継承することでその生産量を維持する取組も行っている。引き続き、下妻市の魅力を全国に周知し、寄附を募っていく。



下妻市の魅力を全国に周知し、寄附を募っていく



小竹 薫 議員
【二括方式】

動画は
こちら↓



小中学校の部活動等の支援について

質問

本市出身のスポーツ選手として、アテネ五輪柔道金メダリストの塚田真希さんや、阪神タイガースの大山悠輔さんなど、本市のPRとなるような方がいるが、部活動やクラブはそういった人材を育てる礎になっているとも言える。近年の大会は複雑になり様々なものがあるが、部活動やクラブなどで、全国大会等で活躍する個人・団体に対する支援はどうなっているか。保護者の負担を軽減する支援を求めます。

運動に関する部活動やクラブ活動において、小中学生が県大会、関東大会、全国大会等に出場する場合の支援については、学校教育課が所管する下妻市立中学校選手派遣補助金と生涯学習課が所管する下妻市小中

生スポーツ大会出場補助金等がある。

下妻市立中学校選手派遣補助金は、中学校体育連盟が主催する部活動の大会のうち、県西大会以上の大会に中学校が生徒を派遣する場合にその経費の一部を補助するものである。下妻市小中学生スポーツ大会出場補助金は、国、都道府県、公益財団法人日本スポーツ協会、またはこれに準ずる団体が主催し、県大会等の予選を経て代表として出場する関東大会以上の大会に出場する場合に補助するものである。

近年のスポーツ競技やスポーツ団体の多様化及び部活動の在り方の変化等により、必要な制度の見直しや拡充を検討していく。

答弁

運動に関する部活動やクラブ活動において、小中学生が県大会、関東大会、全国大会等に出場する場合の支援については、学校教育課が所管する下妻市立中学校選手派遣補助金と生涯学習課が所管する下妻市小中



部活動等の支援について、制度の見直しや拡充を検討していく



野村貴博 議員

【二括方式】

動画はこちら↓



市制70周年 下妻まつり2024について

質問

コロナ禍を経て5年ぶりに下妻まつりが行われ、盛況のうちに開催されたと感じている。今年の夏も猛暑であり、まつり当日の8月3日も大変暑い日であったが、体調を崩した方や、救急隊の出勤等はなかったか、暑さ対策について伺う。

答弁

イベント開催における安全対策、特に夏場の熱中症対策については、会場内の連携並びに情報共有を密に図り、適切な冷却設備の設置等に重点を置き実施した。

下妻まつりの開始時間は午後5時からであったが、会場準備やマーケットエリア出店者などのイベント従事者においては、日差しが強く気温の高い時間から会場入りされるため、来場者と併せスタツ



市制70周年下妻まつり2024の様子

フの熱中症対策も課題であった。会場内各エリアにクールダウンできるスポットを設け、ミストファン・扇風機・スポットクーラーを配置するとともに、給水所を設置し、熱中症対策を行った。また、下妻消防署の協力をいただき、救護所に救急救命士2名を配置し、万が一の緊急時には救急車が速やかに出勤できる手配をしていたのだが、幸いなことに、下妻まつり開催に伴う、けが・急病・熱中症などの事案は発生していない。今後、イベント開催時の安全対策については、「安全はすべてに優先する」を念頭に、引き続き関係機関と連携を密に図りながら、多くの皆様に楽しんでいただけるイベントを目指していく。

意見書を提出しました

第3回定例会で議員提案された教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書を可決し、以下の事項について地方自治法第99条の規定により、内閣総理大臣等関係機関宛てに提出しました。

1. 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる学級編制標準の引下げ等少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種数の配置増など、教職員定数改善を推進すること。
3. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

要望書を提出しました

市議会では、パブリックコメントの意見を踏まえ修正された下妻市庁舎周辺エリアビジョンについて市執行部から説明を受け、今後策定される基本計画において、「市民や市議会の意見を反映させた基本計画とすること」として、令和6年9月19日に市長へ要望書を提出しました。



左から菊池市長、須藤議長、宇梶副議長

行政視察報告 今後の議員活動に役立てていきます

広報広聴委員会

- 日程 10月8日～9日
- 内容
 - ・ 議会だよりの編集、発行等について
 - ・ 議会だよりの編集、発行等について (新潟県聖籠町)
 - ・ 議会の広報広聴活動の取組について (新潟県燕市)

聖籠町では、議会だよりの編集、発行等について視察しました。広報広聴常任委員会の編集委員は、期数の若い議員6名で構成されており、編集の留意点としては、(1)文章は短く、議会での雰囲気や言葉で表現する、(2)見出しは読みやすさに配慮し多く設け、余白もうまく利用する、(3)写真は大きく、人の写っているものを優先する、とのことでした。編集スタイルは、「読んでもらえる」広報紙づくりを目指し、表紙の縦横も自由に、個性ある編集をされていました。

燕市では、議会の広報広聴活動の取組について視察しました。編集委員は、議会広報等特別委員会の9名で構成され、議会だよりの表題も『つばめ市議会 NOTEBOOK』と特徴的でインパ

クトがあり、2色刷りにも関わらず見やすいものでした。編集方針も「読みやすく、わかりやすく、親しみやすい」をモットーに、(1)「見やすく読みやすい」レイアウトを心がけ、最適な字体系や文字数、写真の大きさなどを工夫する、(2)表紙や見開きページを軸として「手に取って見たくなる」特集記事の掲載や紙面の構成とする、(3)一般質問では、臨場感ある議員写真、大きめの写真と読ませるキャプション、一目でわかる問答見出し、質問の意図を解説するなど「伝わる」にこだわったメリハリのある紙面を心がける、ということでした。

両議会だよりとも、クオリティーの高いものであり、本市においても参考に becoming ところが大いにありました。多くの方に手に取っていただける、わかりやすい議会だよりを目指し、広報広聴活動に取り組んでいきたいと思えます。



広報広聴委員会の行政視察の様子

行政視察来訪

福島県福島市議会

- 日程 8月7日
- 内容
 - ・ 電子採決システムの導入について
 - ・ 議会図書室について

福島県福島市議会複合市民施設に関する調査特別委員会が行政視察のため、本市を訪れました。

視察内容に基づき、議会事務局より、電子採決システムの導入について説明後、活発な質疑応答が交わされました。



福島市議会複合市民施設に関する調査特別委員会の皆様

茨城県行方市議会

- 日程 10月3日
- 内容
 - ・ 校内フリースクールについて

行方市議会教育厚生委員会が行政視察のため、本市を訪れました。

視察内容に基づき、指導課より、校内フリースクールについて説明後、活発な質疑応答が交わされました。



行方市議会教育厚生委員会の皆様

議会日誌

8月	9月	10月
7日 行政視察来訪(福島県福島市議会)	3日 第3回下妻市議会定例会	2日 茨城県西市議会議長会臨時会
20日 月例会	3日 本会議 議案上程、説明	3日 行政視察来訪(行方市議会)
27日 茨城県後期高齢者医療広域連合議会 第2回定例会	4日 本会議 議案質疑	7日 茨城県西市議会議長会事務局局長会議
29日 議会運営委員会	5日 文教厚生委員会	8日 茨城県市議会議長会事務局局長
30日 茨城県市議会議長会正副会長会	6日 経済建設委員会	8日 茨城県市議会行政視察(新潟県聖籠町・燕市)
	9日 予算特別委員会	17日 茨城県市議会議長会事務局職員研修会
	10日 決算特別委員会	21日 月例会
	11日 決算特別委員会	22日 第2回広聴委員会
	13日 本会議 一般質問	25日 茨城県市議会議長会第2回定例会
	17日 本会議 一般質問	26日 議会報告会
	19日 本会議 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会	30日 議会運営委員会行政視察(北海道東神楽町・砂川市・千歳市)

次回 第4回定例会予定

月日	曜日	日 程
12月3日	火	本会議(会期の決定・諸報告・議案上程・説明)
12月4日	水	本会議(議案質疑) 常任委員会(総務委員会)
12月5日	木	休 会 常任委員会(文教厚生委員会)
12月6日	金	休 会 常任委員会(経済建設委員会)
12月7日	土	休 会
12月8日	日	休 会
12月9日	月	休 会 予算特別委員会(補正予算)
12月10日	火	休 会
12月11日	水	本会議 一般質問
12月12日	木	本会議 一般質問
12月13日	金	休 会(議事整理)
12月14日	土	休 会
12月15日	日	休 会
12月16日	月	本会議(議案及び請願・陳情に対する委員長報告、質疑・討論・採決) 閉 会

*会期日程は、都合により変更になることがあります。

議会を傍聴しませんか

令和6年第3回定例会では、35名の方の傍聴がありました。

市議会では皆様の傍聴をお待ちしています。

傍聴は、市議会活動に触れる良い機会です。自分が選んだ議員の活動や市政の方針などを知ることができます。

傍聴をご希望の方は、議会開催日に庁舎4階議場までお越しください。

なお、議場内での飲食・雑談等にご遠慮ください。

次回の市議会だよりの発行は令和7年2月10日(月)の予定です。

議会だよりにのご意見などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

問合せ先
議会事務局 (0296)43-2111
(内線4011・4012)



編集後記

猛暑も過ぎ、秋の気配も深まってまいりました。今年の夏は、コロナ禍による中断を経て5年ぶりに、「下妻まつり」が新たな形で開催され、大変多くの人で賑わいました。新たな試みに期待すると共に、ご尽力くださった多くの関係者の皆様に感謝したいと思います。

さて、今号は、9月に開かれた令和6年第3回定例会について、お知らせいたしました。

決算特別委員会では、事業の結果などについて慎重に審査し、一般質問では13名の議員が、様々な市の施策について質問しました。ユーチューブで、一般質問の動画を配信していますので、ご覧いただければと思います。

今号の表紙は、「ピアスパークしもつま」の写真といたしました。昨年までは、市内小学校の写真と紹介を長年続けてまいりましたが、広聴委員会でも検討した結果、今年から、市の現在のトピックや課題を表すデザインに変更しております。

肌寒くなつてまいりました。市民の皆様も、ピアスパークしもつまの温泉で温まり、日頃の疲れを癒してみたいかがでしょうか。

